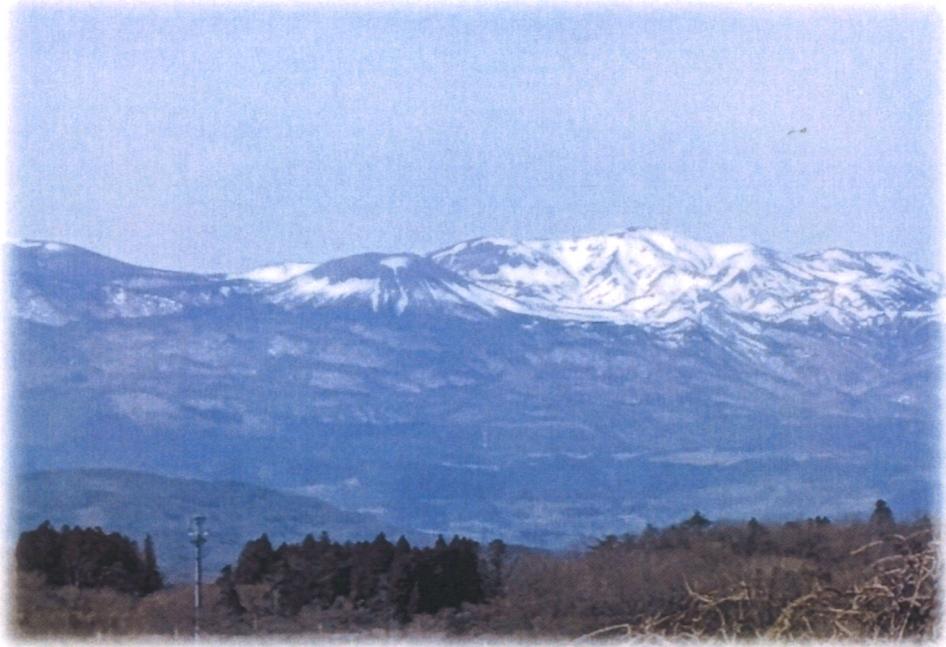


NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



千貫森から

撮影日 2月20日

‘雪うさぎ’は種まきの合図？

この冬も極端に寒い日、暖かい日がありました。今のところ、雪かきはしないで済んでいます。

ということは、田んぼは水不足になるということ…。

‘令和の米騒動’はまだ続くのでしょうか？

(雪うさぎ：今までは3月の下旬から4月下旬にかけてあらわれていました。)

編集部

<法人の概況>

令和8年2月1日現在

1. 経営概況

訪問介護報酬が引き下げられたことや、利用者数が少ないことにより、介護報酬収入は低迷しています。

他方、最低賃金の引上げや物価高により、経費は増加しており、前年度同様、大幅赤字を見込んでおります。

2. 会員・有償ボランティア状況

(単位：名)

	R7. 3. 31	R8. 2. 1	増減
正会員	38	39	1
賛助会員	61	58	△3
有償ボラ	13	12	△1

3. 役員・職員の状況

○役員状況

理事 9名	監事 2名	計 11名
-------	-------	-------

○職員状況 (単位：名)

	正職員	非常勤	増減
訪問介護	3	4	7
居宅介護	3	1	4
管理部門	0	1	1
計	6	6	12

注 居宅介護事業所は、令和7年11月から常勤職員が3名体制となり、「特定事業所加算」を得ることができました。

新春交歓会 開かれる

令和8年の当法人の新春交歓会が、2月14日えびすやフードセンター2階で開かれました。

会員・ボランティア30名の皆さんが参加しました。

理事長あいさつの後、斎藤事務局長より当法人の現勢や経営状況について簡単に報告がありました。

訪問介護の報酬が引き下げられたことや、最低賃金の引き上げ、物価高騰による影響で経営環境がきびしくなっている情勢であることの説明がありました。

乾杯の後、楽しく交流し語り合いました。

令和8年新春交



全国的にヘルパー事業所の倒産やヘルパー事業所が1つもない自治体が増えている中、なくてはならない存在として当法人事業所を守っていききたいとの話がありました。



みんなの広場



飯野町のシンボル飯野小学校

その2



(平成15年当時の校長先生の発案で広い校庭の片隅に1アールの水田と2アールの畑を造りました。) その1より

畑は2年生がさつま芋。その他南瓜、トマト、里芋、へちま。その年でいろんな物を作っています。稲作はずっと5年生です。4月に田と畑にサントーマスを軽トラにバラ積みで運び全面散布。畑にはピグスターと野菜配合を散布してトラクター耕。5月には田植、先生は勿論全員裸足です。素足で感じるドロの感触に大さわぎでした。中には足をとられて尻もちをつく人があったり。

今日行った脱穀は、例年になく稲刈の時ハセが足りなくなり追加した程の出来でしたが、一週間位前に行って見たらハセの下に大量のモミガラが落ちてました。雀の害がかなりあり急きょカカシのピカピカテープを張りましたが、例年並の収穫が望めそうでした。

これから先はまだまだ少子化現象は続くと思いますが、飯野町に生まれた子供たちが、入学する小学校で一生に一度かも知れない経験をしたいと思っています。そしてこれらの行事に協力できる方をさがしています。

〈正会員 高野 久〉

今が一番幸せ

私は中国から日本に来て結婚しました。夫は子供たちが小さい時に亡くなり、私が脳梗塞になってやすらぎのヘルパーさんにお世話になった時、子供はまだ小学生と中学生でした。いろんな事があったけどみんな結婚して、今は一人で暮らしています。



左側に麻痺があるので右側を使います。何年か前に乳癌になって手術をして、今でも治療が続いているけど負けません。病気なんて飛んでいけー!です。

リハビリに通ったり、むすびやさんに行って仕事もしています。おはようのヘルパーさんと買い物をしたり、歌会に行ったりもします。

やすらぎのヘルパーさんと一緒に調理をしながら大きな声で歌の練習をします。去年12月に市民センターで行なわれたガヤガヤフェスのステージで3曲歌ってきました。とても楽しかったです。今が一番幸せです。

〈利用者 佐久間 ^{ウーシン} 月星〉



地域団体と福祉のつながり

私は20歳頃から「地域で役に立つ仕事をしたい」と考えてきました。飯野町で起業する先輩方の姿に刺激を受け、介護と保育の経験を活かし、父の事業である“介護タクシーぽぷら”を継ぐことを決意しました。

大変なことも多くありましたが、現在は車両4台で稼働し、多くのお客様やスタッフに恵まれています。また、商工会青年部や若連など地域団体に所属する中で、「介護や福祉が身近に知られていない」という課題を感じました。

そこで福祉を知ってもらう活動として「RAN伴(ラントモ)ふくしま」に参加し、各地で事例発表も行いました。その影響もあり、大玉村商工会青年部では認知症サポ



ーター養成講座が開催され、私も参加しました。青年部と福祉の繋がりが強くなった事を感じました。

これからも飯野町の若い世代に介護や福祉を知ってもらい、地域やお客様に信頼される存在を目指して、楽しく活動していきたいです。

<介護タクシーぽぷら

高野 晴輝 >



会員・賛助会員

ボランティア募集



NPO やすらぎの郷いいの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一〇一言

“種まきウサギ” 日本には、地域ごとに「種まきの時期を知らせるいい伝え」がたくさんあって、どれも気候や農作業の経験から生まれた知恵として今も語り継がれています。温暖化がさらに進んだら・・・切なくなります。

(K)